

# 千両小で防災訓練行う

## 水消火器や段ボール間仕切り組み立て学ぶ



水消火器で消火訓練を行う児童ら（豊川市千両小学校で）

豊川市千両連区合同防災訓練は8日、市内の千両小学校で行われ、5・6年生44人が水消火器訓練や段ボール間仕切り組み立てなどを通して防災の大切さを学

んだ。冒頭、山口裕啓千両連区長が「台風や地震など注意が必要な区域を知り、常日頃から防災の意識を高め、いざという時に備えてほしい」と

あいさつ。市防災課の土居秀三課長が防災センターや防災アプリを説明した。子どもたちは、グラウンドで消防士の指導を受け、水消火器による消火訓練を

実施。体育館では加山興業が提供した避難所の間仕切り段ボール10セットと仮設防災トイレ1セットを組み立て、非常食を試食した。

訓練に参加した鈴木尚真くん（6年）は「家族や友達を守るように、防災の知識をしっかりと身につけたい」と話した。

合同防災訓練は、児童や地域住民の防災意識の向上を図るのが狙い。地元の千両小学校と千両消防団、防災塾ライフポート、安全なまちづくり千両校区、千両校区青少年健全育成協議会、千両製材所が、協働で防災訓練を企画した。市は市民協働の街づくり推進のため、ボランティアやNPO法人の人材育成と運営支援に取り組んでおり、地縁組織（連区、町内会）や市民団体が協働して実施する事業について補助している。（原田直樹）